

よくばり天狗 ミニ紙芝居 大杉弁バージョン

作：ガート T. ウェスタハウト

翻訳：林 清乃 大杉弁：綾 美寿恵

イラスト：アライヒロシ

1 てんぼなむかし、大杉の在所ではのお・・・

「八兵衛、在所のために泉を探してくれんかのう！」

「はよみつかったらええけど、だーれもこの日照りがいつ終わるかわからんしなあ」

「うらら、精出してくるし、待っとらっしえ〜！」

「天狗に気いつけや〜」

2 行っとなるとき、八兵衛はじよなモンと会った。

「こんにちは！わしゃ、雪男。わりや、アイスクリーム持っとっけ？」

「ありや、うらの名前はチキ・チキン。えまからミスチキンコンテストに行くんや。

うらの鏡、すてきやろ！」

「わしゃタヌキ。わしにまかせ！泉がどこにあるか知っとるわい！」

3 突然、天狗が飛び出してきたんや。

「おい、おめら！わしの山で何をしとるんや？」

「泉を探しとれん。」

「ほーん、ほんなら、わしが探しているもんを見つけたら泉を探してもええ。

そいつはのお、わしの大事なうちわと太鼓のばちを盗っていったんや！」

「ほー、そやったんか・・・」

「ええか、よー覚えとけ！こかあ、わしんちの山や！」

4 さらに進んでいくと、カミナリに出会いおった。

「天狗に太鼓を盗られたんや。そやけど、ばちはここにあるんじゃ。

そやから天狗は、雨を降らせれんのや！」

「そやし、雨がずっと降らなんだんじゃなあ。」

「こんうちわは手ひつついて離れんのや！」

「あー！そうやったん！」（みんな順番に）

「天狗の住んどるところ行って、カミナリの太鼓を取ってこよっさ」

「おー！」

5 天狗のおるところ行ったら、すぐ捕まった。

「はっはっは！やっとな空を思うよにでけるようになった。

ようし、手始めにカミナリをならしてやる。」

ゴロゴロゴロ！！ ピカーッ！びっくりしたチキンは持とった鏡を知らんとかたげた。

そしたら、鏡に稲妻が反射して天狗の上に落ちて、天狗は石になってしもたんや。

「えかったのお！カミナリ君、さあ、雨を降らさいてくわっしえーの。そやけど、この天狗、どうしれやえかろう。」

「おーん・・・」

「大杉の在所に持って帰ろう！」